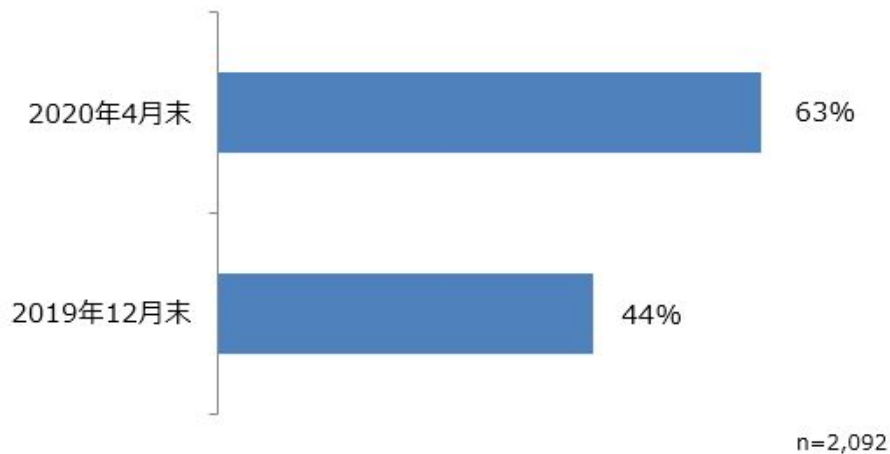
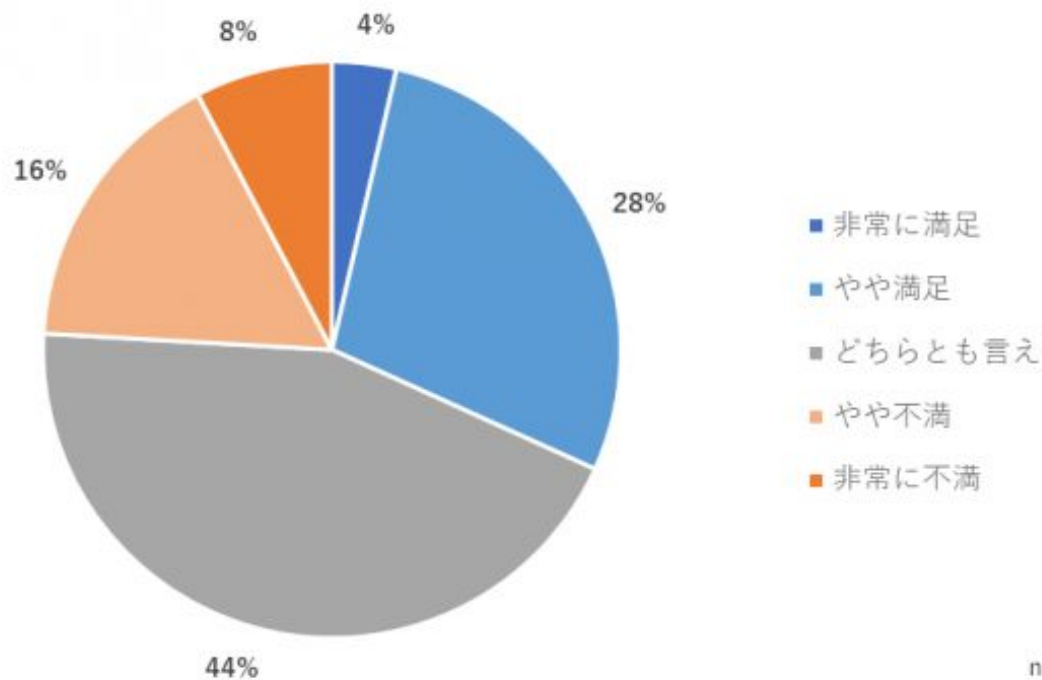


web会議ツールの作成

【データ1】Web会議システムの利用率推移



去年の12月の40%台から、  
2020になってコロナがはやり始  
めてから4月末には60%台にまで  
web会議ツールの利用率は増えま  
した



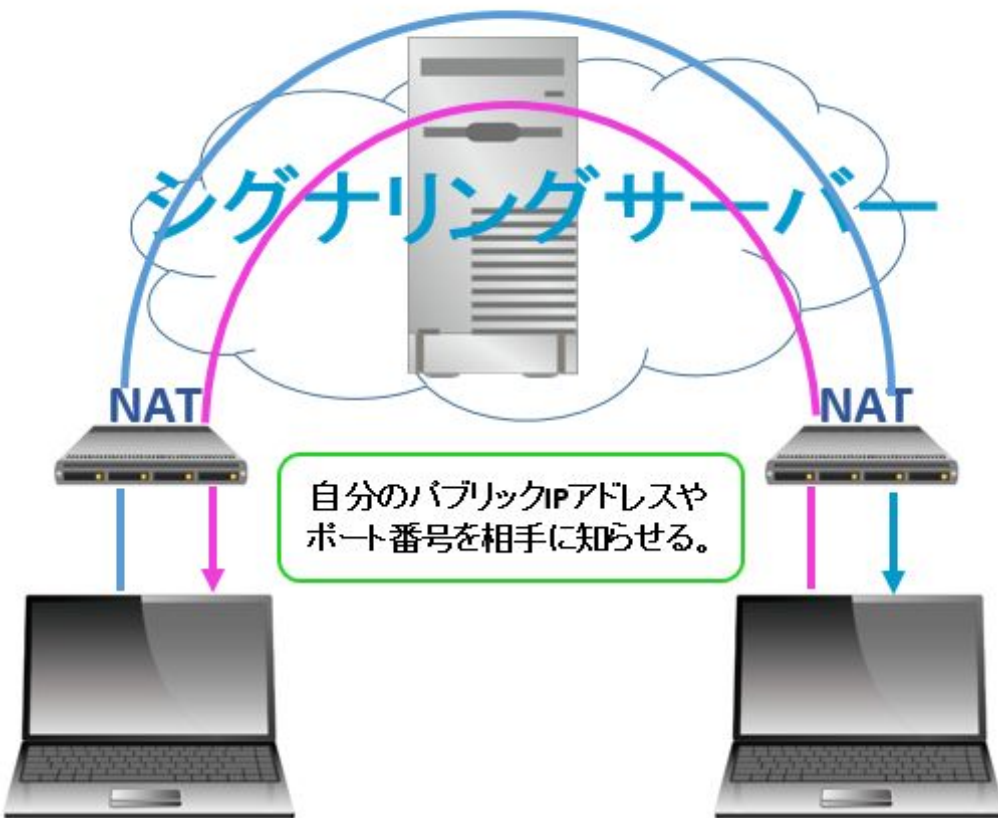
web会議ツールの利用は増えてきましたが、利用者の半数が利用に満足がいないという現状です

ウェブ会議ツールの利用満足度

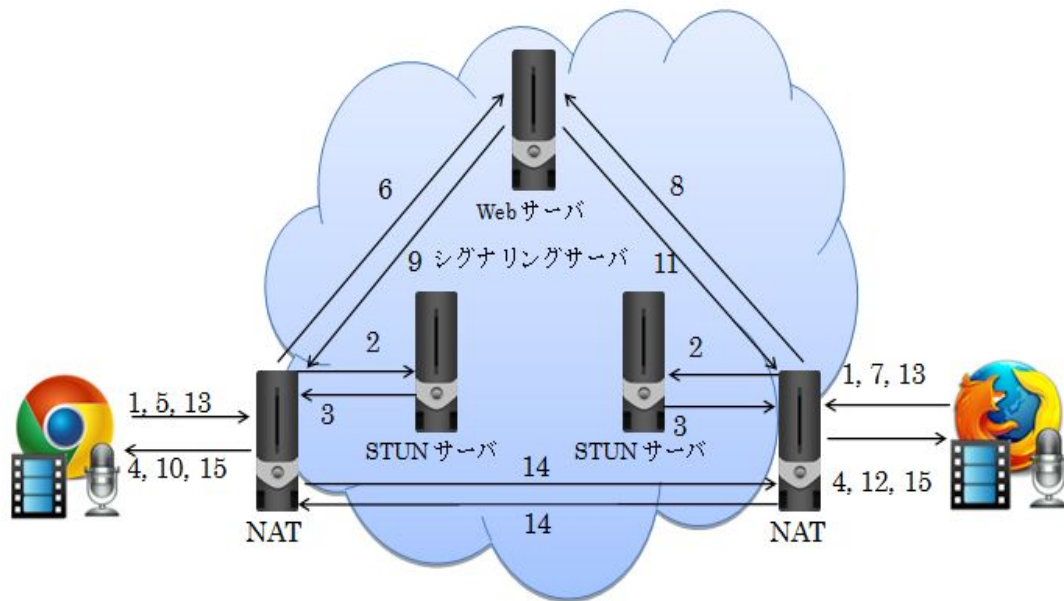
理由としては、データの共有がしにくい、機能が多く使い方がわかりにくい、参加者の把握がしにくいなどの理由がありました

web会議ツールを一から利用者が作れば、必要な機能、必要ではない機能を自分で選択でき、利用する人の使い方にあった専用のweb会議ツールを作成できます、今よりもスムーズなweb会議などがおこなえるとおもいました。

## 【シグナリングサーバーの役割】



web会議ツールの作成には、シグナリングサーバーと呼ばれる、ほかのユーザーと通信するための専用のサーバーが必要です



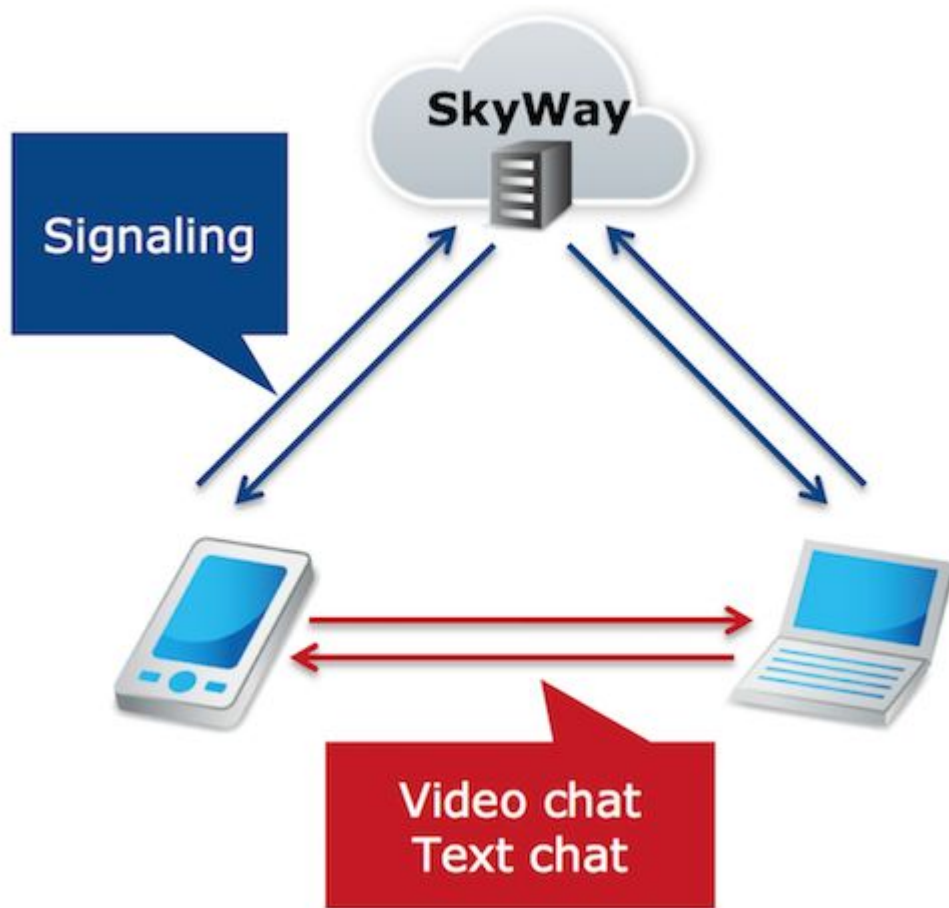
しかし、シグナリングサーバーの構築には、STUNサーバーとよばれる通信の為のIPアドレスを相手に伝えるためのサーバーまで必要になり構築が複雑になります



# SkyWay

そこで、シグナリングサーバーの代わりをしてくれる、skywayというapiを用いて、web会議ツールを自分で作成してみようとおもいます。





skywayを用いると、シグナリングサーバーとSTUNサーバーの両方を担ってくれるため、二つのサーバーを構築する必要がなくなり、作成が簡単になります。

# 仕様

- 1、複数人でのテレビ通話ができる
- 2、チャット機能
- 3、入退室記録

# 使う技術

HTML,css,php,mysql,skyway

# スケジュール

8月22～31日

DB,php勉強

9月1～10月前半

ビデオ通話、チャット機能作成

HTMLデザイン

10月後半～11月前半

入退室記録機能

11月後半～12月前半

テスト、問題があれば修正

12月後半～

発表準備